

問1	日本の生乳処理量を調査した統計において、バターやチーズの原料となる「加工用生乳」の処理量は北海道が全体の約89.3%と圧倒的であるのに対し、直接飲むための「飲用生乳」の処理量は関東や中京圏などでも高い数値を示しています。このような違いが生じる背景について正しく述べたものはどれですか。 （2022年 埼玉県公立入試 類似）			
	1. 北海道は広大な土地を活かした大規模な酪農が行われているが、遠方の大消費地へ鮮度を保ったまま届ける必要がある飲用牛乳よりも、保存のきく乳製品への加工に重点を置いている。	2. 飲用牛乳は加工品よりも市場価格が低いため、輸送コストを抑える目的で、すべての都道府県において消費量に見合った自給自足が行われている。	3. 加工用生乳は飲用生乳に比べて腐敗しやすいため、消費地から遠く離れた北海道のような冷涼な地域で集中的に加工する必要がある。	4. 大都市周辺では牛の飼料となる牧草を自給する広大な牧場を確保しやすいため、鮮度が求められる飲用牛乳の生産を独占している。
問2	日本には、知床、白神山地、屋久島、小笠原諸島、奄美大島・徳之島・沖縄島北部及び西表島の5つの世界自然遺産があります。これらが位置する北海道、青森県、秋田県、鹿児島県などの道県のうち、青森県（青森市）、秋田県（秋田市）、鹿児島県（鹿児島市）のように県名と県庁所在地名が一致する自治体がある一方で、北海道は名称が異なります。世界自然遺産である知床を有し、道庁所在地が置かれている都市の名称を答えなさい。 （2018年 千葉県公立入試 類似）			
	1. 秋田市	2. 青森市	3. 札幌市	4. 鹿児島市
問3	北海道の石狩平野など、かつて植物が十分に分解されずに積み重なった湿地が広がっていた地域において、農業を可能にするために行われた土地改良の説明として、最も適切なものはどれですか。なお、この地域では耕地面積のほぼすべてが畑や牧草地として利用されています。 （2025年 群馬県公立入試 類似）			
	1. 海岸線を大規模に埋め立てる「干拓」を行い、塩分を抜くことで大規模な機械化農業に適した土地を造成した。	2. 他の土地から性質の異なる土を運び入れる「客土」を行い、あわせて排水施設を整備して土地を乾かした。	3. 大規模なダムを建設して灌漑用水を確保し、もともと乾燥していた土地を水田へと変えるための水路を整備した。	4. 気温の低さを克服するために、農地の周囲に防風林を設置し、ビニールハウスなどの温室栽培のみに特化した。
問4	北海道における人口分布の変化について、1950年から2010年までの統計的な傾向を説明した文として正しいものはどれですか。なお、この期間において北海道全体の人口は約430万人から約551万人へ、札幌市の人口は約62万人（1960年）から約191万人へと推移しています。 （2016年 群馬県公立入試 類似）			
	1. 道内人口に占める札幌市の割合は、1960年から2010年にかけて一貫して減少傾向にある。	2. 札幌市の人口は1960年から2010年にかけて、北海道全体の人口増加分を補えないほど減少した。	3. 北海道全体の人口増加に比例して、道内すべての市町村の人口が均等に3倍以上になった。	4. 北海道全体の人口が緩やかに増加する中で、札幌市の人口はそれを大きく上回るペースで増加した。
問5	ニセコ町や倶知安町が進める「ニセコモデル」において、外国人宿泊客の急増に伴う課題を解決するために、特に重視されている取り組みの内容として正しいものはどれですか。 （2025年 群馬県公立入試 類似）			
	1. 冬季の観光客を分散させるため、冬のスキー場を閉鎖して通年型の農業体験へ転換すること	2. 地元の農産物を輸出するために、観光客の移動手段を制限して物流網を優先すること	3. 公共交通機関と宿泊施設を結ぶ二次交通の利便性向上と、官民連携による環境整備	4. 国内の修学旅行生を優先的に受け入れるための、外国人客向けの宿泊料金の引き上げ
問6	北海道の倶知安町やニセコ町における外国人宿泊客数の統計では、1 2月から3月にかけての冬季の客数が突出して多く、他の月との格差が非常に大きいという特徴が見られます。このような宿泊客の動向が生まれている地理的な背景として、最も適切な説明はどれですか。 （2025年 群馬県公立入試 類似）			
	1. 夏休みの期間を利用した大規模な農業体験が外国人家族連れに普及しているため	2. 世界屈指の雪質を求めて海外から多くのスキー・スノーボード客が訪れるため	3. 梅雨のない気候を求めて、アジア圏から多くの避暑客が長期滞在するため	4. 流水を観察するための砕氷船観光が、外国人観光客の最大の目的となっているため
問7	北海道地方の気候の特色について、6月から7月にかけての状況を説明したものとして最も適切なものはどれですか。 （2021年 神奈川県公立入試 類似）			
	1. 南東から吹き込む湿った季節風の影響により、本州よりも早く本格的な雨期が訪れる。	2. 梅雨の影響をほとんど受けないため、本州以南で見られるような長期間の雨期がはっきりしない。	3. 北東から吹く冷たい風（ヤマセ）の影響で、この時期だけ急激に降水量が増加する。	4. 停滞前線が長期間にわたって停滞するため、年間で最も降水量が多い時期となる。
問8	日本の農作物の生産統計において、北海道が全国の生産量の約8割を占め、主に砂糖の原料として利用される寒冷地向けの作物は何ですか。 （2018年 長野県公立入試 類似）			
	1. りんご	2. さとうきび	3. てんさい	4. 茶
問9	十勝平野における大規模な畑作では、同じ耕地において数年周期で栽培する作物を変える工夫がなされています。このような栽培方法を取り入れている理由として、最も適切な説明はどれですか。 （2024年 滋賀県公立入試 類似）			
	1. 政府による米の生産調整に対応するため、もともと水田だった土地を畑に作り変えて別の作物を栽培するため	2. 冬の積雪期間を有効に活用して、同じ土地から一年のうちに二度の収穫を行い、農家の所得を増やすため	3. 特定の作物を連続して栽培することで起こる連作障害を防ぎ、土地が持つ生産力である地力を維持するため	4. 冷害による被害を最小限に抑えるため、寒さに強い作物だけを特定の広い区画に集めて単一栽培するため
問10	北海道の県庁所在地である札幌市の気候の特徴を説明した文として、統計データに基づき正しく述べたものを次の中から選びなさい。 （2022年 熊本県公立入試 類似）			
	1. 1月の平均気温は5度前後であり、夏には梅雨の影響で雨が非常に多いが、冬は乾燥して晴天が続く。	2. 1年を通じて気温の変化が小さく、1月の平均気温も15度を上回り、夏に極めて多い降水量が見られる。	3. 1月の平均気温が氷点下の約マイナス5度まで下がり、年間の降水量は各月100mmから150mm程度で推移する。	4. 夏は非常に高温になる一方で、冬の降水量が極端に少なく、年間降水量が1000mmを下回る乾燥した気候である。
問11	北海道東部の根釧台地に位置し、夏に濃霧が発生しやすい冷涼な気候を生かして大規模な酪農が行われており、農業産出額の大部分を乳用牛が占めている自治体はどれか。 （2025年 青森県公立入試 類似）			
	1. 北見市	2. 別海町	3. 新篠津村	4. 夕張市